

都道府県名	愛知県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	武豊町立富貴中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	1	13	26
生徒数	134	146	139	2	421	

研究の概要

1. 研究主題

基礎学力の向上からはじまる学校生活の充実

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

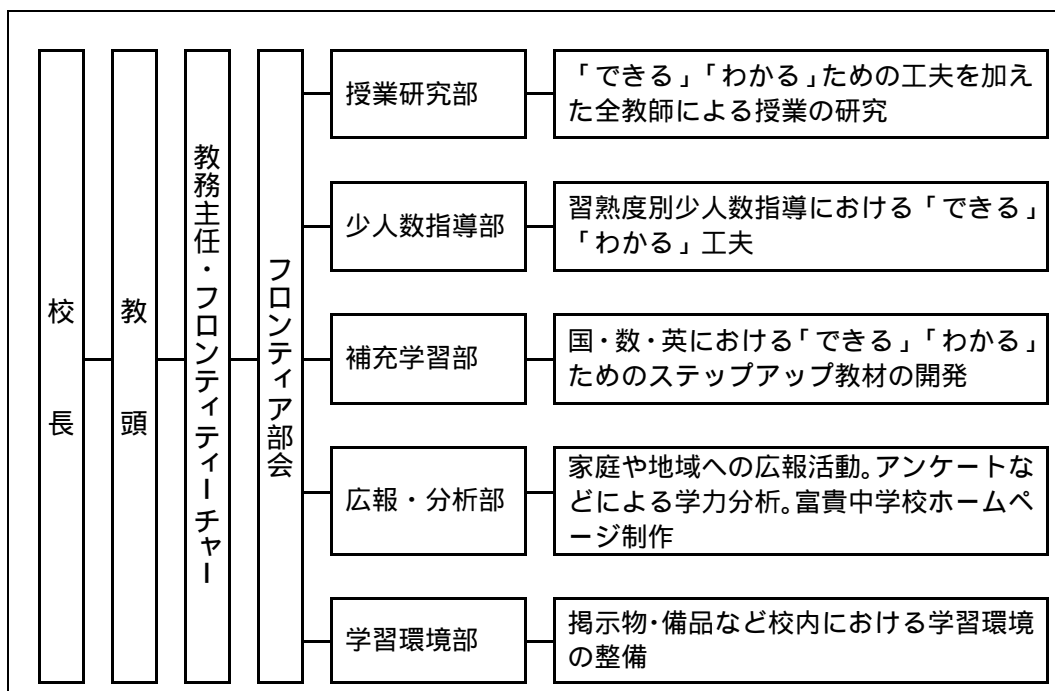
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年、全教科で実施している。 ・ 1, 2年の英語、1年の数学ではTTを組んで授業をしている。 ・ 3年生の選択授業では、国語・数学・英語の3教科で8コースを開設し、習熟度別少人数指導を行っている。
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 「つまずき」を克服し、「できる喜び」・「わかる楽しさ」を味わえる基礎学力の定着</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全教師での研究授業や、研修会の機会を通して日々の授業の中で「できるようにする工夫」や「つまずきを克服する手だて」を工夫・改善していく。 ・ 個人の習熟度にあった学習の場を設け、「確かな学力」の定着を図る。 ・ 以上の実践を通して、どの生徒も学習の場を保障し、「できる喜び」や「わかる楽しさ」を味わわせることで、学校生活をより充実したものにしていきたい。 <p>研究の内容・方法</p> <p>全員研究授業 生徒が「わかる」・「できる」と実感できる場面を意図した指導案を作成し、全員が研究授業を行う。 導入部分で「既習事項の振り返り」 国語で例をあげると、「漢字」や「小文の読み取り」など毎時間の開始時行い、既習事項の獲得を図る。</p> <p>シミュレーション授業 教員が生徒役になり、実際の授業を事前に行い、発問や学習過程が効果的であるかどうか検討をする。</p> <p>習熟度別学習 数学や英語でTT指導を行っているが、単元の終末時には2コースでの生徒希望による習熟度別グループを作り、アフターフォローの学習をする。</p> <p>ラーニングタイム 国語・数学・英語の3教科で「漢字・計算・単語・英文」を中心に教師自作のドリル教材を準備し、小学校からの内容でステップアップを図る。</p>
--------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 評価活動から指導計画の見直しを図り、「できる喜び」・「わかる楽しさ」を味わわせる授業への改善</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードを作成し、単元を通して毎時間の目標を生徒自身に把握させる。 授業者の評価と自己評価の食い違いなどから、常に評価規準の見直しを図る。 T1の授業形態を取り、T2の即時評価で個に応じた指導を図る。 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教科、全学年自己評価カードを作成する。 全教科、全学年評価規準表の見直しを図る。 全員研究授業で、「指導と評価の一体化」が図られているか検証する。 T1や少人数指導を推進する。 補充的な学習、発展的な学習の場を設定する。
----------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>導入時の「振り返りの場面」で授業開始時における「学習の構え」ができ、集中して学習に入ることができるようになった。</p> <p>補充的な学習場面を設けることで、今まで学習へ不応をしていた生徒も参加意欲が高まった。</p> <p>少人数指導では、生徒の活動場面、練習量や発言回数が増え、充実感や達成感を味わわせることができた。</p> <p>全員研究授業、シミュレーション授業を通して教師の授業力がアップした。</p>

2. 今後の課題

<p>学習方法の改善が中心の実践であった。生徒の変容をつかみ、さらなる授業改善、生徒の学力向上をめざして以下の取り組みを図る。</p> <p>評価規準表の改訂</p> <p>生徒の自己評価カードの作成</p> <p>を全教科、全学年を対象に行う。</p>

学力把握のための学校としての取組

【教研式標準学力検査】... 4月実施

前年度までに学習した5教科の定着度を測定することをねらいとしている。各教科のどの内容が弱い(強い)かや、生徒の得点分布や平均点を分析している。

【生徒・保護者アンケート】... 10月実施、2月実施

学習や、学校生活、家庭生活におけるアンケートを実施し、生徒や保護者の意識や態度の実態をつかむことをねらいとしている。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

ホームページによる公開

管内教務主任者会における研究実践報告会

- ・ 1月20日、武豊町立中央公民館で開催
- ・ 知多管内教務主任が参加(約120名)
- ・ 教務主任として各自の学校の授業改善をどう進めていくか研究協議をした。

武豊町内現職教育研究会

- ・ 2月23日、武豊小学校で開催
- ・ 武豊町内全小中学校教員が参加(約170名)
- ・ 町内各学校で学力向上をめざし、それぞれの学校で授業改善をどう進めていくか研究協議をした。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無